

林委員（自民議連）

令和6年3月5日
教育長 答弁実録
（教育委員会）

（問）県立高校の魅力を高める取組について

広島市内において、県立高校が選ばれる工夫が必要だと思うが、県立高校の魅力を高めるため、具体的にどのようなことに取り組んでいくのか、教育長に伺う。

（答）

県立高等学校につきましては、少子化の急速な進行により、生徒数が減少する中であっても、地域や保護者、関係機関等の協力を得ながら創意工夫をこらして、生徒に選ばれる魅力ある学校づくりに取り組んでいるところでございます。

例えば、国泰寺高校におきましては、学校が独自に設定した科目である「グローバル平和探究」などを通して、生徒の「批判的・論理的思考力」や「言語・コミュニケーション能力」などが着実に向上しているところでございます。

祇園北高校におきましては、教育活動と部活動を融合した探究に取り組み、大学生等も参加する、野球データ分析競技会において、投球データ分析の取組が評価され、高等学校として、全国で初めて優秀賞を獲得するなど、実社会での学びにつながる取組を推進しております。

また、教育委員会では、次期「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」におきまして、社会が求めるニーズに応じた多様な県立高等学校の体制整備を更に進めるため、新たな課程・学科等の在り方を検討することとしております。

こうした中で、普通科におきましても、これからの時代に対応した学科への改編など、学校の特色化・魅力化を更に進め、引き続き、生徒に選ばれる県立高等学校づくりに全力で取り組んでまいります。